

世界を知り尽くした 岡村龍哉

岡村 龍哉の宝石・健康紀行「韓国」編（2007）

岡山空港からゆったりとした皮シートを倒すと直ぐに **韓国** の **インチョン空港** へ到着した。オープン直後の熱気は冷め、落ち着いた洗練さを漂わせていた。今回のソウル訪問は、10年後のブランド戦略の布石を打つためだ。2006年7月、突然、**大韓民国**（面積：98,480Km²、人口：約4860万人）の**首都ソウル（約1000万人）**の宝石会社からプラチナジュエリーの当社製品購入の打診があった。韓国では高級ジュエリーの素材はK18・WG18が中心で、プラチナは使われない。しかし、昨今のブランド志向・素材重視志向を踏まえプラチナジュエリーに着目したらしい。[当社のホームページ](#)が目に留まったらしい。



『**商談**』は4日後なので、岡村らしさを出すため観光だ。前回は「歴史と伝統」をテーマに観光したので、





今回は、

「朱蒙 (チュモン)」・「チャングムの誓い」・「春のワルツ」
が観光テーマだ。





まず、チュモンの舞台の『プヨ』へ向かった。百済王朝の都であり、現在もプヨを継承している。プヨ市の職員の女性が詳細に歴史や土地柄を丁寧に説明してくれた。



お礼に濃縮高麗人参エキスを大量に購入した。コリアンバーベキュー（焼肉）を食した次の日、



MBC テレビが運営する『[チャンダムテーマパーク](#)』を訪れた。私の好きな
[ヨンセン](#) (パク・ウネ) の手形が無かった。とても残念だった。





オミジャ（五味茶 ⇒ 甘味・辛味・苦味・酸味・塩味を併せ持つお茶）とトックおじさんのマッコリを購入した。



その夜は韓定食の『サムチョンガク』へ行った。京料理を思わせる味だった。また、山宮殿を思わせる壮大な建物であった。





車で5分程の近くの丘に『チョンワデ』（韓国大統領府）があったので、ムヒョン大統領に表敬訪問と思い、ドライバーを説得し向かったが大統領府とは言えないだろう地点です。すでに閉門、仕方なくドライバーとフットボール（サッカー）談義をしながらホテルへ。



三日目は発展を続ける現代のソウルを体感すべく、ミョンドンへ。イタリアの香りを髣髴させた。いよいよ最終観光テーマの課題 『春のワルツ』 の舞台、ウォーカーヒルホテル と隣接の W へ向かった。



CASINO の改装を確認し韓国伝統舞踊とミュージカル（イギリスのショー団）のディナーショーを観覧した。伝統舞踊はまさにチャングムの内容にアレンジされていた。続く、ミュージカル「サブウェイ」は、以前、ラスベガスで見たショーだった。座長の顔を覚えていた。ショーを堪能した後、Wのバーへ。聞くと、チョコレートは無く『春のワルツ』のドリンク場所でもなかった。再び、ウォーカーヒルへ向かい舞台のバーへ。満喫した3大観光テーマを達成した。



余談だが、ソウルで人気の『ジャンプ』を観覧した。(『ナンタ』は前回観覧したので) まさしく吉本新喜劇、ナンタの方が数段上だ。(世界でも類の無いエンターティナーショーだ) オリジナルの尊さを改めて痛感した。JO のオリジナルテーマ、設立以来の 『より良いジュエリーをより安価に・・・』 を胸に刻んだ。明日はいよいよ 『商談』 日。



夜明けを確認すると下調べのため、約束の 3 時間前に現地に到着。情報収集を一、直営店へ顧客として訪問。10 分前に相手先会社を正式訪問。30 代の社長はパワフルな女性だった。相手のお話を聞くこと 50 分、中々の教養の持ち主だ。(オーストラリアへ留学経験有り) ここは幅広く継続した取引・提携をと思い、相手の得意で自信のあるアメジスト・シトリンのルースを購入することに。(JO ギャラリーにて製作後、展示販売中) そこで私の理論・ビジョン・知識をお返しで披露。40 分で遠慮した。(最後の 10 分はケアンズのグレートバリアリーフ・エアーズロック・シドニーなど共通の体験談で歓談) 次回、具体的提案をすることになった。(企業秘密の話題が満載なのでここまで)

ここで、シンプルに 『アメジスト』 を説明しよう。

正式名を **AMETHYST** (日本名：紫水晶, 化学成分：SiO₂, 宝石言葉：高貴・心の平和・真実・楽しい夢, 2 月の誕生石) と呼び、モース硬度 (押し込み強度) は、7 である。名前の由来は、ギリシア語の 「**Krystallos**」 に由来し、「透明な氷」を意味する。《お酒の悪酔いを防ぎ、邪悪な欲望から精神を守る石》と古代から伝えられている。

纏わる物語としては、お酒に酔った 『お酒の神』 **バックス** が 『月の女神』 **ディアナ** と喧嘩した腹いせに 『最初に出会った人間を **ピューマ**に

襲わせよう』と決め、そこへ現れたのが **ディアナの女官アメシスト** であった。**ピューマ**が噛もうとした瞬間、**アメシスト**は**ディアナ**の‘**パワー**’によって小さく透き通った白い石に変化した。お酒の酔いから醒めた**バックス**は反省し、その白い石にブドウ酒をかけると、たちまちに《**紫色の石**》に変化した物語は有名である。

AMETHYST は、水晶類の仲間だが、その**紫色**は、地中内の放射能の影響によるものだ。**北朝鮮**や**ブラジル産**の**アメジスト**がお勧めだ。濃い色で透明感のあるとても良質な石が採掘される。



何時も **私は肝に銘じている** のだが、一つのプロジェクトを成功させるには、**様々な事柄を同時並行で進め**なくてはならない。来年、2008年の北京オリンピックなどが良い例だ。オリンピックを成功させる為には、もちろん競技選手を育て（長い年月を掛けて強化する）、選手が競技するスタジアムを整備し、各国選手の宿泊施設である選手村を整備し、外国語通訳を養成し、大勢の来場客の為にホテルを整備し、各競技場へのアクセスの為に交通を整備し、また、世界水準のマナーや衛生面・快適さを提供する為に広範なインフラ整備が必要となる。

ハード面だけではない、ソフト面でも言語や慣習、社交性を向上させなければならぬ。列挙に暇ない程の数の整備が必要だ。それが全て同時進行だ。**JO**の**プロジェクト**もそうだ。**全てが同時進行**だ。個人もまた同じだ。

女性社長が食事に誘ってくれた。『**ビョクジュカルビ**』高級焼肉店。（高級車がずらり）断然美味しい韓国産牛だった。（最初のお店は・・・）



余談だが、ホテルのプールで競泳した後、日光浴。考えてみると私一人の日光浴だった。リフレッシュした表情でジムを通った際、若い女性がこちらを凝視。 **韓国のトップ女優** らしい。(20代前半女性・ホテルのスタッフが興奮して私に説明するが名前を忘失) **ヨンセン** ではなく残念だった。



ショッピングをし尽くし **1時間20分** で岡山空港へ。

広島へ戻る新幹線内、60代の男性が私を凝視。行ったり来たりこちらを凝視。おしぼりを受け取りながら気が付いた。数週間前にNHKの特集番組（代表作のヒット前後の想いを紹介していた）に出演していた青春歌を歌う有名歌手だった。同じ車両に乗り合わせ（私の後方座席）、こちらへの視線を感じ続けた。2

人からの凝視の意図は未だに謎だ。